

# 古里発展光る足跡

## 6氏に岐阜新聞大賞



トロフィーを手にする第74回岐阜新聞大賞の受賞者の皆さん  
 10日午前11時20分、岐阜市橋本町、岐阜放送テレビスタジオ  
 (撮影・堀尚人)

第74回岐阜新聞大賞の贈呈式が10日、岐阜市橋本町の岐阜放送テレビスタジオであり、学術、産業、教育文化、匠の部門で郷土の発展に寄与した6氏に賞が贈られた。



【関連記事10面に】  
 受賞者は、学術部門で王志剛氏、岐阜大副学長、

佐治木弘尚氏、岐阜薬科大副学長、産業部門で小栗達弘氏、岐阜造園代表取締役会長、堀富士夫氏、デリカサイト相談役 FOUNDER(ファウンダー)、教育文化部門で後藤左右吉氏、元岐阜市教育長、歌人、匠部門で挟土秀平氏、職人社秀平組代表。

贈呈式には古田肇知事、柴橋正直岐阜市長会長(岐阜市長)らが出席。受賞者は、県出身で世界的なガラス工芸作家各務鑑三氏によるカガミクリスタル社制作のクリスタルトロフィーと、美濃和紙の賞状が贈られた。

岐阜新聞大賞は1950年創設。県内の各分野の発展に貢献した個人、企業、団体をたたえ贈呈している。今回で受賞者は556人、4企業、24団体となった。

# 地域に貢献、努力結実



贈呈式で喜びを語る受賞者＝岐阜市橋本町、岐阜放送テレビスタジオ(撮影・堀尚人)

## 岐阜新聞大賞贈呈式

### 受賞6氏たたえる

岐阜市橋本町の岐阜放送テレビスタジオで10日に行われた第74回岐阜新聞大賞贈呈式では、受賞した6氏が喜びを語り、各分野でのさらなる発展や地域貢献を誓った。

贈呈式では、矢島薫岐阜

新聞社長が「受賞を機にふるさと岐阜にさらなる貢献をしてもらえたら、私たちも報道を通してバックアップしていく」とあいさつ。選考委員長の吉田和弘岐阜大学長は、選考経過を報告し「今後も健康に気をつけてより一層、郷土の地域発展のために尽力してほしい」と激励した。

来賓の古田肇知事は「まさに県の発展と繁栄は皆さんのおかげ。長年の努力の到達点がこの受賞であると思うが、新たなスタートラインとして、今後の活躍を祈っている」と祝辞を述べた。県市長会長の柴橋正直岐阜市長は「ごまざまな困難を乗り越えてきた受賞者の方々に、後輩にその姿を伝え続けてほしい」と期待した。

### 塑性加工 追求続ける

専門の塑性加工において数多くの研究成果を著名な科学雑誌に発表し、教育、学術研究に尽力した岐阜大学副学長王志剛氏 歴史ある賞をいただき、光栄に思う。塑性加工は日常生活の必需品に使われている成熟した技術。今後は資源循環、カーボンニュートラル、人工知能(AI)などを利用し、新しい塑性加工の姿を追求していきたい。次世代を担う技術者の育成にも尽力していく。

### 小さな種が開花した

有機合成・プロセス・創薬・触媒・環境化学の研究を推進、学会や地域社会の振興に貢献した岐阜薬科大学副学長佐治木弘尚氏 米国製薬会社で見つけた小さな「種」がスタッフや学生の頑張りもあり開花した。触媒の分野が薬学の枠を超え他分野と融合し、新しい産業を形成するという信念を持って水素社会の実現や温暖化対策を岐阜発で進める。研究を実用的に発展させ社会に還元したい。

### 人と緑をつなぎたい

創業以来県内外で多数の公園や庭園の設計・施工を手がけ、造園業界初となる上場を果たした岐阜造園代表取締役会長小栗達弘氏 受賞は本当にうれしく誇りに感じている。造園は建設業の中ではマイナーな仕事だが、温室効果ガスの削減など重要な役割を持っている。上場という形で造園業界の発展に寄与できたと思う。今後は人と緑をつなぎ、心身ともに豊かな暮らしを提供していきたい。

### 「中食」一歩ずつ発展

全国の中食業界をけん引、県民の健康食育に寄与し地域経済や文化の振興・発展に尽力したデリカサイト相談役FOUNDER堀富士夫氏 中食という新しい総菜産業を一歩ずつ発展させてきた。今後も食を通じた健康への貢献を進めたい。創業からの社は「まごころを礎に食生活の充実と向上に努め地域社会みんなの満足とやすらぎを得よう」を基に、地域のために何ができるかを考えていく。

### 短歌、人間の幅広げる

岐阜市教育長として教育行政の発展や県歌人クラブ会長などを務め、短歌の普及、後進の育成に尽力した岐阜市教育委員会元教育長後藤左右吉氏 14歳の時から始めた短歌や、一生懸命やってきた教育について認めていただき光栄に思う。短歌は人間の幅を広げてくれたように思う。今後は国民文化祭や県歌人クラブの活動に協力しながら、これからもやんちゃに感性豊かな短歌をうたい続けたい。

### 作品通し思い伝える

伝統的な左官業の枠に収まらず塗り壁を芸術作品に昇華させ、業界の振興に大きく貢献した職人辻秀平相代表挾土秀平氏 若い頃は異端と言われたが、近年は県内の象徴的な施設の仕事も多く岐阜県民だと強く感じる。相手が喜ぶ形で意表を突くことを心掛けてきた。人間には命があり時間に限りがあるので、作品の分だけメッセージが残るといふ思いでつくりたいものを大量につくりたい。